

【概要報告】2025年度 第7回理事会(通常)

- 日時： 2026年2月17日(火) 午後6時30分から午後8時まで
- 会場： 丸の内 アレックスビル会議室
- 出席者： 大塚耕平、横井俊広、廣田修二、大下孝、岡田三千雄、河村禎之、近藤安彦、黒田伸浩、
 大家浩靖、神谷幸次、渡邊裕吉、近藤努、首藤隆宏、高垣政和、 大津聡、水越義雄、
 守屋一郎、縄田亮太、佐藤弘樹、後藤圭三、石川和子、山田浩子、西川浩然
 以上 理事 23名
 奥村勝己、後藤春幸 以上 監事 2名 計 25名
- 欠席： 長谷川太一、中村拓夫、石川裕貴、浅井貞人、佐々暁則、小縣徹男、
 以上 理事 6名 計 6名
- 陪席者： 事務局員【今井富美江、竹島優太、安永真由子】

司 会：大下専務理事

1 開 会

2 挨拶【大塚会長】

本日も御多忙のなか、御参集くださり感謝申し上げます。現在開催中の冬季オリンピック、3月開催のWBC、9月に愛知県で開催されるアジア競技大会と今年はスポーツイベントが多く開催され楽しみである。

本日は議題も多くより円滑な議事進行に御協力をお願いします。

議 長：河村禎之

議事録：事務局【竹島優太、安永真由子】

3 審議事項

- (1) JVA 功労者Ⅱ表彰推薦【黒田事務局長】 事務局資料
 前専務理事 小縣徹男氏を推薦
【これについて諮り、承認】
- (2) 2026年度運営基本方針(案)【大下専務理事】 予算委員会資料1
 資料にて説明
【これについて諮り、承認】
- (3) 2026年度事業計画(案)【黒田事務局長】 予算委員会資料1
 資料にて説明
【これについて諮り、承認】
- (4) 2026年度予算(案)【黒田事務局長】 予算委員会資料2
 ア 資料にて説明
 イ 一部旅費計上額への指摘があったが、本予算で修正との回答
 ウ 2027年度以降の特別大会仮払金予算計上は、担当者から要項及び予算書提出をもって予算計上
【これについて諮り、承認】
- (5) 2026年度以降連盟配賦金・小学生連盟研究指導費について【大下専務理事】 予算委員会資料2
 ア 資料にて以下を説明
 (ア) 2026年度及び2027年度は連盟配賦金・小学生研究指導費は従来どおり支出
 (イ) 各連盟の様式で連盟配賦金又は小学生研究指導費の収支報告書提出を必須
 (ウ) 次年度への繰越は可
 (エ) 2026年度から2027年度までの間に「連盟の選手個人登録料導入」を検討、2027年度からの導入も可
 (オ) 2028年度以降連盟配賦金は、廃止
 (カ) 専門部が事業を計画する場合は、事務局・事業部・支部・委員会と同様に専門部費を予算計上、その際は予算委員会出席、事業計画・予算(案)及び事業報告書・収支報告書を提出
 (キ) 各連盟は当会加盟団体のため、連盟配賦金の有無にかかわらず、収支報告書提出必須
 (ク) 連盟配賦金収入のみ高体連及び中小体連は、連盟配賦金の繰り越しがなくなるまで収支報告書を提出

イ 以下の質疑応答があった。

- (ア) 専門部として新規事業を計画する場合に単年度実施でもよいか。
 - ◆ 原則「継続実施」が前提である。しかし「トライ＆エラー」の取り組みは応相談
- (イ) 収支報告書は、現在連盟で作成の決算報告書でよいか。
 - ◆ フォーマットは、各連盟の様式でよい。
- (ウ) 連盟でチーム登録料等を徴収している。専門部費希望なしでよいか。
 - ◆ 専門部費は、協会組織である専門部への予算で、連盟の予算ではない。連盟の活動と専門部の活動や事業は異なるとの認識と理解が必要
- (エ) 2027年度開催予定の全国クラブカップ9人制大会仮払金予算申請は、専門部が担当するのか。
 - ◆ 当会主管のため事務局からの予算申請
- (オ) 連盟の選手及びスタッフ個人会費は、連盟配賦額を含んだものである。2028年度以降、個人年会費の一部は連盟に配賦されず全額当会収入となるのか。
 - ◆ 当会収入である。連盟は、JVAMRS で連盟個人登録料を設定し徴収できる。連盟の必要事業に支出可能。
- (カ) 2028年度から連盟配賦金廃止であれば、2026年度連盟配賦額設定の段階で必要な情報であり、独自設定した趣旨が変わる。当初から廃止情報があれば2026年度以降の連盟配賦額をなしとする選択肢もあった。この時期の廃止審議はタイミングを逸しておりかつ非常に違和感がある。
 - ◆ 連盟配賦金収支報告や繰越を検討した上での提案、タイミングを逸したことは否めない。発言内容は理解でき、そのことを踏まえ2027年度までは連盟配賦金支出とした。
- (キ) 2026年度以降の連盟配賦額を改定したい。
 - ◆ 会費の改定となり、理事会での総会開催決議、再度の総会開催が必要となる。
- (ク) 2026年度以降の個人年会費額に連盟個人登録料を設定すると個人負担増、この影響への認識を伺いたい。
 - ◆ 連盟個人登録料設定が、個人負担増になることは承知している。次年度以降、日当、食費、付帯作業費改定により一般会計支出増が見込まれる。連盟配賦金支出減による増収をその費用に充てる。
- (ケ) 現行の個人年会費に、連盟個人登録料を追加は理解が得られない。専門部費の予算申請要領、申請業務量、予算規模のイメージがほしい。
 - ◆ 専門部事業は、委員会と同様と考えるため予算委員会資料を参考にしてほしい。事業計画、会議費、旅費、消耗品などを計上する要領である。

【これについて諮り、提案内容で承認】

(6) 2026年度競技日程【近藤努競技委員長】

競技日程資料

ア 資料にて説明する。会場確保が相当困難、上位大会のない予選は、延期又は今年度の中止検討が必要

イ 以下の要望があった。

- (ア) 4月東海選手権、5月中部総合、6月国スポ、天皇杯・皇后杯の参加費徴収は、収納代行利用
- (イ) メリットは、領収書作成不要、現金扱いが不要
- (ウ) 冷房費も、参加費と同様に徴収すると大会当日の負担減になる
- (エ) 各カテゴリー大会でも利用促進

ウ 以下の質疑応答があった

- (ア) JVAMRS で支払いは管理画面で確認可能か。
 - ◆ 参加費を納入しないと大会参加申込が完了しない。中学新人地域クラブ予選会で収納代行を利用したのが負担減となった。選手個人から徴収する設定も可能
- (イ) 振込となると収納代行手数料は必要か。
 - ◆ 必要、ただしかなりの大会総務業務負担軽減

【これについて諮り、承認】

(7) 年会費及び登録料規程改定【大下専務理事】

規程改定資料

- ア 資料にて説明
- イ 理事から意見集約し、弁護士に最終確認後確定
- ウ 今後は、専務理事一任

【これについて諮り、承認】

4 報告事項

(1) 専務理事【大下専務理事】

資料事前送付

- ア AVFes2025 収支報告
- イ 第 78 回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦報告
- ウ 業務執行状況
 - 上記は、事前送付済み
- エ 新社会人リーグ
 - (ア) 新社会人リーグが次年度から開催
 - (イ) 現時点で大同特殊鋼レッドスター、トヨタ自動車サンホークスが参加申請
 - (ウ) SV4 チーム、SV.Growth I チーム、新社会人リーグ 2 チームと現行 SV.V. LEAGUE チーム数に変更なし
 - (エ) 新社会人リーグの大会運営要領が現行 V. LEAGUE と変更になる可能性

(2) 事務局【黒田事務局長】

事務局資料

- ア PayPay 銀行法人口座開設
 - 業務の効率化及び手数料削減のため PayPay 口座を開設
- イ ホームページ運営の人件費改定検討
 - 資料の通りで検討し第 1 回予算委員会及び第 1 回理事会で提案
- ウ ホームページ「役員専用ページ」の設定
 - 業務効率化のための設定
- エ 2026 年度以降スポーツイベント賠償補償制度加入
 - (ア) 今年度、当会主催大会でセンターネットと観客席破損があり
 - (イ) 今回の事案に対応するため留意事項を踏まえ加入
- オ 2026 年度 7 月以降の理事会等日程
 - 今後検討して報告
- カ 2026 年度登録(年会費納入)について
 - 以下、訂正
 - (ア) 資料 5 頁の「事務局主事 藤森雄介」から「事務局次長 藤森雄介」に訂正
 - (イ) 資料 6 頁別表 1 第 3 種中学生 2 項目の連盟登録費 1,200 円を、0 円に訂正

(3) 大学専門部【縄田専門部長】

事務局資料

資料の通りである。

(4) ママさん専門部【石川和子専門部長】

事務局資料

愛知県ママさんバレーボール連盟は、一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟から脱退

(5) 特別委員会【大下委員】

特別委員会ほか概要報告資料

- ア 財務検討委員会
 - 資料の通り
- イ 組織改革委員会
 - 資料の通り

(6) 地域クラブ予選会検討会【大下専務理事】

特別委員会ほか概要報告資料

資料の通り

5 次回理事会

- (1) 日時 2026年5月12日(火)午後6時30分から午後8時まで
- (2) 会場 丸の内アレックスビル会議室
- (3) 内容 2025年度事業報告、収支報告、決算、予算、総会ほか

6 挨拶【廣田副会長】

来年度は、アジア競技大会開催のため各大会会場確保や運営が非常に難しくなるだろう。しかしこの機会に、業務の見直しと改善でよりよい協会運営を目指したい。課題解決に向け、引き続き皆様の御協力をお願いする。長時間の御審議に感謝申し上げます。